

## 令和6年度第1回柏原市総合教育会議議事録

日 時	令和6年10月16日(水) 午後2時から午後2時30分
場 所	大会議室(本館4階)
出 席 者	(柏原市総合教育会議構成員) ○市長 富宅 正浩(議長) ○教育委員会教育長 新子 寿一 ○教育委員会教育長職務代理者 田中 保和 ○教育委員会委員 近藤 温子 ○教育委員会委員 西村 弥生子 ○教育委員会委員 太田 貴之
欠 席 者	○なし
傍 聴 者	○なし
関 係 者	○副市長 松井 久尚 ○政策推進部長 市川 信行 ○政策推進部総合政策監 山口 伸和 ○教育部長 桐藤 英樹 ○教育部教育監 安田 典子 ○教育部次長兼教育総務課長 稲山 佳史 ○教育部教育総務課課長補佐 塩谷 行由 ○教育部スポーツ推進課長 清水 康弘 ○教育部学務課長 北野 典子 ○教育部指導課長 小室 吉昭
事 務 局	○政策推進部次長兼企画調整課長 榎内 秀夫 ○政策推進部企画調整課主事 吉儀 千佐子
会 議 次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 子どもの学習支援について (2) 教員の働き方改革について (3) 恩智川(法善寺)多目的遊水地上面整備について (4) ICT端末の更新について (5) その他 4 閉会

## 議 事

<p>(事務局)</p>	<p><b>【1 開会】</b></p> <p>只今から、令和6年度第1回柏原市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>皆様には、ご多忙の折、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます柏原市政策推進部企画調整課の榎内と申します。どうぞよろしく願いいたします。以降、着座にて失礼いたします。</p> <p>それでは、早速会議を進めさせていただきます。</p> <p>本会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条第4項にて規定しております開催要件、「市長及び教育長等のうち1名以上の出席による」を満たしておりますので、本会議が成立しておりますことをここでご報告いたします。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、富宅市長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>【2 市長あいさつ】</b></p> <p>皆さん、改めましてこんにちは。</p> <p>本日は令和6年度の第1回総合教育会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素は柏原市の教育環境の充実に多大なるご尽力いただきまして心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>さて現在、人口減少や多様化・複雑化する社会状況、こういった観点から各市町村の実情に応じた学校の運営推進というのが求められています。</p> <p>また、学校を取り巻く環境も複雑・多様化しているような状況でございます。</p> <p>そういった状況を踏まえると、現場の教員の皆さんだけで対応することはなかなか難しくなってきているのではないかと懸念をしております。</p> <p>柏原市の未来を担う子どもたちのためにも、教育委員会と、そして行政がタッグを組んでより良い教育環境を引き続き提供できるよう、この会議でその方向性を共有していき、皆様とともに力を合わせて取り組みを進めていきたいと思っております。</p> <p>どうぞ本日はよろしく願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p><b>【3 議事】</b></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、3の議事に入らせていただきます。</p> <p>会議は、柏原市総合教育会議運営要項第3条の規定により、市長が</p>

	<p>議長となります。</p> <p>ここからの会議の進行をお願いしたいと思いますので、市長よろしくをお願いいたします。。</p>
(富宅市長)	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、運営要項に基づきまして議長を務めさせていただきます。皆様ご理解、ご協力よろしく申し上げます。</p> <p>まずは、本日の傍聴はなしでございますね。</p>
(事務局)	<p>はい。</p>
(富宅市長)	<p>それでは会議を進めさせていただきます。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p> <p>はい、新子教育長。</p>
(新子教育長)	<p>改めまして皆さん、こんにちは。</p> <p>現在、少子高齢化、ICTやAIの発達、グローバル化など、これまでの経験のない社会の到来が言われております中で、学校教育や社会教育のあり方については、これまで以上に大きな関心や期待が寄せられております。</p> <p>富宅市長におかれましては、本市の非常に厳しい財政状況の中でも、学校給食の無償化をはじめ、小中学校体育館への空調設置などの教育関連事業に対し、多くの予算を割いていただいておりますこと、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。</p> <p>今後、本市の教育がより一層充実、発展しますよう、全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>本当に財政厳しい中ですが、何とかやりくりさせていただいております。</p> <p>本市の未来を担う子どもたち、そして市民の皆さまの生涯学習・生涯スポーツ等の推進のためにも、この総合教育会議で議論させていただきながら、本市の教育の発展のために様々な施策を進めさせていただきたいと考えておりますので、引き続きのご理解ご協力をよろしくをお願いいたします。</p> <p>(1) 子どもの学習支援について</p>

	<p>それでは議事（１）に移らせていただきます。 「子どもの学習支援について」でございます。</p> <p>現在、子どもの貧困対策といたしまして「教育の支援」では、子どもに対する様々な学習・生活面等の支援や、就学等に必要な金銭面の支援が推進されておりますが、現状をお聞かせいただければと思います。</p> <p>（新子教育長から発言を求める声あり）</p> <p>はい、新子教育長お願いします。</p>
(新子教育長)	<p>学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」とされており、本市においても、柏原市立の小・中学校に就学させるのに経済的な理由でお困りの保護者に対し、就学に必要な費用の一部を援助する、就学援助制度を行っております。</p> <p>令和5年度は、小学校児童数の10.4%、中学校生徒の12.9%に対して就学援助を行っております。</p> <p>就学援助費目のうち、修学旅行費、林間学習費においては、各校で就学助成制度の援助費をめやすとしながら修学旅行などの計画を立てておりますが、宿泊費、バス代等、年々高騰しており、児童・生徒につけたい力に沿った教育活動の立案が難しい現状となっております。</p> <p>具体的には、場所の変更や活動の見直しとともに、昼食代を児童・生徒自身が持参するなど、結果として家庭負担が増えているのが現状であります。</p> <p>以上のことから、就学援助制度の援助費の引き上げを大阪府教育庁にもご尽力をいただきながら、検討できるようお願いしたいと考えております。</p>
(富宅市長)	<p>はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。</p> <p>（太田委員から発言を求める声あり）</p> <p>はい、太田委員お願いします。</p>
(太田委員)	<p>現在の就学援助制度が他の市町村と同様に、この柏原市でも続けられることが、非常に大切なというふうに考えています。 また、大阪市が実施されているように、塾代の補助、習い事の補助</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>などの助成が広がると、子どもたちの学習環境もさらに良くなってくると思います。</p> <p>はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。</p> <p>(近藤委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、近藤委員お願いします。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>日々の生活にしんどさがあると、子どもの教育について考える余裕がなくなってきました。</p> <p>就学援助制度は、経済的に家庭を助けてくれる大切な制度だと思っています。</p> <p>学校では、手紙での案内以外にも、各家庭に声かけなどを行うことで、制度が必要な家庭に情報が行き渡るよう考えてくれていて、有難く思っています。</p> <p>ただ、今後も物価が上昇していくうえで、今までと同じ認定基準額は厳しいのではないかと考えます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。</p> <p>(西村委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、西村委員お願いします。</p>
<p>(西村委員)</p>	<p>就学援助制度は重要な教育支援策であることは間違いありませんが、全国的にも地域格差や支援額の不足、申請手続の煩雑さや認知不足、緊急時の対応遅れなど、いくつかの課題が存在していると言われています。</p> <p>支援を必要とするすべての家庭がスムーズに制度を利用できるようにするためには、制度の改善や情報提供の強化や社会的なサポート体制の拡充が求められると思います。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>本当に必要な家庭に必要な支援が行き届くよう、就学援助費目や金額検討し、教育活動の充実と保護者の皆様の負担の軽減の双方を実現できるよう、検討していきたいと思っています。</p>

	<p>次に、同じく「子どもの学習支援」について、ここ数年、本市でも外国人の方の転入が増加しております。</p> <p>そういった中で、日本語指導が必要な児童生徒数も増えていると思います。また、国籍についても本当に様々であると思われませんが、どのような支援が行われているのか、現状をお聞かせいただければと思います。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、田中委員お願いします。</p> <p>柏原市でも外国からの転入生は増えてきております。</p> <p>現在、日本語指導を必要とする児童生徒数は62名、9月末現在ですすでに昨年度末より9名増加しております。</p> <p>全国的な傾向に見られますように、柏原市においても今後増加していくものと考えております。</p> <p>教育委員会といたしましては、外国から直接柏原市の学校に編入した子どもを支援するために、日本語指導員（通訳）を配置しております。</p> <p>日本語指導員は、日本語の活用に課題や不安を抱く海外から編入した児童生徒が、学校生活を少しでも安心して送れるよう、通訳者として日常的な会話や授業のサポートをしております。</p> <p>今年度は、昨年度より100回分増加し、350回分の予算を確保しておりますが、9月末現在で、すでに230回の活用をいたしております。</p> <p>また、編入した子どもたちの言語については、令和5年度、9言語でしたが、今年度は更に5言語増え、14言語と多言語化しており、通訳者自体を探すのも困難な状況にあります。</p> <p>言葉が通じないことで、子ども、保護者も不安な日々を過ごしていると学校から聞いております。</p> <p>今後、日本語指導員の増員だけでなく、多言語化に対応できるように翻訳機などの導入を進め、日本語が必要な子どもたちを支援するための策を、早急に進める必要があると考えております。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、太田委員お願いします。</p>

<p>(太田委員)</p>	<p>多くの外国からの編入児童生徒が柏原市内にいる状況で、日本語指導に対応する教員が専属で校内に配置されたり、受入れ環境が整うことは、今後の柏原市の発展に大きく影響することと思います。</p> <p>市内の子どもたちが外国籍の児童・生徒とともに学び、理解し合えるようになることは、柏原市の子どもたちが多様性を身につけ、世界に出ていくことにもつながります。</p> <p>そのためには、支援が必要な外国の子どもたちを柏原市が今後も支えていくことが大切だと思います。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>(西村委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、西村委員お願いします。</p>
<p>(西村委員)</p>	<p>子どもの学習支援という観点で少しお話しさせていただきますと、現行の特別支援教育の対象になりにくい子どもたち、例えば非常に高い知的能力や学術的な才能を持つ子どもたちに対する支援体制は十分とは言えないと思います。</p> <p>現在は通常学級での対応が中心ですが、個別の学習ニーズに応じた柔軟な支援や、高度な知的要求に応えられる教育機会が求められています。</p> <p>また、そのように個々に応じた柔軟な対応の結果として、全ての子どもたちそれぞれの主体的な学びに結びつくことが期待されるのではないかと考えています。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>学校には外国にルーツのある子どもさん、そして生まれ持って高い能力を持つ子どもさん、あるいは障がいのある子どもさんなど、配慮を必要としている子どもさんがたくさんいらっしゃるのが現状だと思います。</p> <p>これからも、誰一人取り残すことのない持続可能な教育を、柏原市長としても望んでおりますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p><b>(2) 教員の働き方改革について</b></p> <p>それでは次に、議事の(2)「教員の働き方改革について」でございます。</p> <p>教員の皆さんが子どもたちの指導に使命感を持ってより専念できるように、学校における働き方改革を踏まえた、部活動の地域への移行</p>

	<p>が進められておりますが、本市の取り組みの状況についてお聞かせください。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p> <p>はい、新子教育長お願いします。</p> <p>(新子教育長) 部活動の段階的な地域移行につきましては、国は令和7年度までを改革推進期間としており、本市においても取り組みを進めているところでございます。</p> <p>昨年度は、教育委員会が中心となり、生徒・保護者・教員を対象にした部活動に関するアンケートを実施し、大学と連携した自治体の先行的な取組を視察するなど、本市の実情に応じた地域移行の在り方について調査研究に取り組んでまいりました。</p> <p>今年度は、校長会代表・教職員代表・スポーツ推進課を交えた意見交換会を実施し、「拠点校型」部活動のモデル実施に向けて、実現可能なところから準備を進めております。</p> <p>現在は、休日の地域移行先として、スポーツ推進課と連携し、体育協会登録団体にご協力をいただきながら、協議を進めているところでございます。</p> <p>それにより、土日の教員への負担が減ると期待されます。</p> <p>また、国分地域では、大阪府で初の部活動地域移行団体として、今年度より活動しているバスケットボールチームがでございます。</p> <p>教育委員会といたしましては、完全地域移行の目指すべき最終モデルとして支援していくとともに、「拠点校型」部活動を計画的に推進してまいりたいと考えております。</p>
	<p>(富宅市長) はい、ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、太田委員お願いします。</p>
	<p>(太田委員) 現在柏原市は地域連携という形で部活動をサポートしていますが、ここ数年で地域のスポーツクラブが以前に増して活発に活動するようになってきていると感じています。</p> <p>既存のクラブチームと学校の部活動をどのように連携させていくかが、地域移行にとって大切な必要なことだと思います。保護者のニーズと教員の働き方改革を両立させていく方法の検討が今後も必要だと</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>考えています。</p> <p>はい、ありがとうございます。本当に重要な課題だと思っています。部活動というのは健康な体づくりを行うとともに、スポーツの楽しさや喜びを味わうことによって、生活をより豊かにする大切な活動であると考えています。</p> <p>子どもたちにとって望ましい部活動というのはどうあるべきなのかということ。そして、地域の受け皿や人材の確保などたくさん課題はあるとは思いますが、持続可能な取り組みとなるよう、新たな子どもたちのスポーツ環境について市全体で考えていきたいと思っています。</p> <p>では、同じく働き方改革におけるスクールサポートスタッフの活用について、現状をお聞かせいただければと思います。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、田中委員お願いします。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>柏原市では令和2年11月よりスクールサポートスタッフ配置事業を開始し、令和5年度は、市内15の小中学校に週15時間勤務のスクールサポートスタッフを1名ずつ配置いたしました。</p> <p>その配置により、こまめな消毒作業が可能となり、子どもたちが安心して学習活動に取り組むことができました。</p> <p>また柏原市教職員の超過勤務は、かねてからの課題であり、消毒作業等の感染症対策業務によるさらなる勤務時間の増加が懸念されましたが、この感染症対策業務を教職員からスクールサポートスタッフに移行することで、教職員の業務軽減にもつながり大きな効果上げてきております。</p> <p>チーム学校としてスクールサポートスタッフも学校の一員として定着しました。令和5年5月に新型コロナウイルスが5類へ移行後も、感染症対策業務は引き続きスクールサポートスタッフが行うことで、感染拡大による学級閉鎖を防ぐとともに効率よく業務分担する本来の活用が図られてきております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>スクールサポートスタッフの皆さんが、感染症対策業務で大きな効果上げられているということで、本当に嬉しく思っています。今後、スクールサポートスタッフの皆さんをどのように活用していくか、お考えをお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>

<p>(新子教育長)</p>	<p>はい、新子教育長お願いします。</p> <p>文部科学省では、学校における働き方改革の環境整備の一つとして、スクールサポートスタッフを活用した業務分担を促進しております。</p> <p>本市においても教職員の超過勤務は課題であり、授業準備支援や教材印刷等、免許のいらぬ業務をスクールサポートスタッフが行うことで、教職員の超過勤務の軽減につながり、ついでには子どもに向き合う時間が増え、より良い教育活動につながっていくと考えております。</p> <p>以上のことから、スクールサポートスタッフの活用を働き方改革の一つとして位置づけ、大阪府教育庁にもご尽力いただきながら、引き続き配置できますようお願いしたいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、太田委員お願いします。</p>
<p>(太田委員)</p>	<p>現在も柏原市内の学校においては、月80時間以上の時間外勤務をしている教員が多くいます。スクールサポートスタッフがプリントの印刷や清掃などの教員業務を補助し、時間外勤務を減らすことが教員の子どもたちと向き合う時間が増えることにつながると思います。</p> <p>スクールサポートスタッフの活用は、柏原市の子どもたちにとって今後も必要だと考えています。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>(近藤委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、近藤委員お願いします。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>今年度は1学期に学校訪問の機会をいただきました。多くの学校からスクールサポートスタッフ、ICT支援員、図書館司書など教員以外の方々の活躍を耳にしました。色々な分野の方々に支えてもらうことは、先生方の働き方の面だけではなく、学校全体としての充実に関わってくると強く感じました。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>学校現場におきましては、教職員の働き方改革を進める上でも、多様な職種の人材が求められていると考えています。スクールサポートスタッフもそのひとつだと思っています。</p> <p>本市においても国や大阪府の取り組みを参考にしながら、スクールサポートスタッフをはじめ、様々な人材の今後の活用について検討していけたらと考えています。</p> <p><b>(3) 恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備について</b></p> <p>それでは、議事（3）「恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備について」に移りたいと思います。</p> <p>教育委員会では現在、恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備を進めています、どのような状況になっていますでしょうか。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p> <p>はい、新子教育長お願いします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>市民アンケートやパブリックコメント、また本市若手職員からなる内部検討会などの意見を経て、基本計画策定委員会において、令和5年6月に基本計画を策定いたしました。それを基に、令和6年7月末に基本設計が完成し、現在は、施設の仕様や工事内容を確定させる実施設計に取り組んでおります。</p> <p>この実施設計において、工事を実際に施工するための施工位置や形状寸法、材質などを調査・検討し、設計図の作成、概算工事費の算出を行っております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>実施設計を行っているということは、施設の具体的な内容についても決まっているということですね。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p> <p>はい、新子教育長お願いします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>はい、この上面整備につきましては、「スポーツと緑とやすらぎのある公園の複合施設」をテーマに整備を進めてまいりました。</p> <p>具体的には、近年、オリンピックを中心に人気が高まっているスケートボードパークの設置やフットサル、バスケットボールなどが楽しめるスポーツ施設、また、インクルーシブの考え方を取り入れた、誰もが安心して楽しめる遊具広場、そしてご家族で遊べる芝生広場などからなる運動公園となっております。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>これまで本市では、このような広大な運動公園はないことから、整備が完成すれば、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が楽しめ、また、市外からも子育て世代や若年層を中心とした集客が見込まれる施設になると考えております。</p> <p>はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。</p> <p>(近藤委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、近藤委員お願いします。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>芝生の広場だけでなく、多種多様な植栽が計画されており、年々緑豊かになっていくことが楽しみです。</p> <p>駅からも近く、新たな行楽スポットとして市全体の活気が期待されます。</p> <p>災害時の活動拠点としても考えられており、心強く感じております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、太田委員お願いします。</p>
<p>(太田委員)</p>	<p>バスケットコート、フットサルコート、スケートボードパークなど素敵な施設ができるのは、柏原市のイメージアップにとっても、とても良いことだと思います。</p> <p>施設の予約がインターネットでできるように、是非お願いしたいと考えています。</p> <p>料金が発生する場合に、支払いに関しても簡素な方法で支払いができれば、非常に望ましいと考えています。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>この施設については、私のところにも市民の皆様や各競技団体から、こんなものを作ってほしいとか、色々な声をいただいております。</p> <p>そういった市民の皆様の声をも十分に反映していただいている内容になっているのかなど、私自身感じました。</p> <p>引き続き完成に向けて進めていただきたいと思います。事業費や財源についてはどのようになっていますでしょうか。</p>

<p>(新子教育長)</p>	<p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p> <p>はい、新子教育長お願いします。</p> <p>事業費につきましては、当初4億円という計画で事業を進めてまいりました。しかしながら、市長もおっしゃられましたように、市民ニーズ、市民アンケート、さらにはスポーツ団体等の要望、また利用者の安全に配慮するなどの考えから、基本設計において計画を見直しながら進め、現在は約5億から6億円程度で考えております。</p> <p>財源につきましては、国による交付金、大阪府の負担金、またスポーツ振興くじの助成金などを考えており、できるだけ一般財源の歳出を抑えていきたいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>冒頭にも申し上げましたが、本市財政的にも非常に厳しい状況でございますので、あらゆる交付金とか補助金の獲得には全力で取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>そして、本当に多くの方々が楽しめる施設の整備・完成に向けて今後も事業を進めていただくようお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(4) ICT端末の更新について</b></p> <p>それでは、続いて議事(4)「ICT端末の更新について」であります。</p> <p>ICT端末の導入から早いもので4年が経過し、更新の時期が近づいていると思いますが、機器類の更新について、今後の方針などについてお伺いできますでしょうか。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>(田中委員から発言を求める声あり)</p> <p>はい、田中委員お願いします。</p> <p>令和2年度にGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台の端末を整備していただきましたが、いよいよ令和7年度で5年目となり、更新時期を迎えます。</p> <p>次年度のICT端末の更新につきましては、国の方針により都道府県において基金を創設し、そこからの補助を受けながら、府内での共同調達によって行うものとされています。</p> <p>現在、共同調達の実施に向けて、各市の要望を取り入れた仕様書を作成するための作業部会が随時開催されており、柏原市も参画して鋭意進めているところでございます。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>新しい端末は夏休み中に各校へ配備し、9月から使用を開始したいと考えております。</p> <p>また、同じく教職員が使用しております校務支援システム端末とシステムサーバーについても、8月末で保守が切れるため、新たに機器の更新が必要となってきております。</p> <p>児童・生徒1人1台の端末更新と同じ時期となりますので、財政的な負担が大きくなるのが考えられますが、柏原市におきまして、ICTを効果的に活用した教育をより良い環境で継続できるよう、ご配慮いただきますようお願いしたいと考えております。</p> <p>はい、ありがとうございます。 他にございますでしょうか。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p> <p>はい、新子教育長お願いします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>1人1台の端末の更新につきましては、都道府県での基金の創設、またそこからの補助を受けて、共同調達が可能となったことにつきましては、本市としましては、市長が国や府に対し、財政支援に関する積極的な要望をあげていただいたおかげだと感謝しております。本当にありがとうございます。</p> <p>今後も引き続き、教育環境の充実に対する積極的な支援をお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>子どもたちの将来を見据えたICT教育を推進していくためにも、ICT環境の継続的な整備に対して今後も市としまして、国や大阪府に対しまして、財源支援に対する声を積極的に引き続きあげていきたいと思っています。</p> <p><b>(5) その他</b></p> <p>それでは、議事(5)「その他」についてですが、皆様何か案件等がございますでしょうか。</p> <p>はい、特にないようでございますね。</p> <p>本日は様々な本市の教育の現状や課題について、教育委員の皆様のご意見をいただき、本当にありがとうございました。</p> <p>今後も本市の子どもたちのために、教育委員会と市長部局が協力して様々な取組を進めていかなければならないと考えています。</p> <p>皆様には本市の教育振興に向けて引き続きお力をお貸しいただくよ</p>

(事務局)	<p>うお願い申し上げ、進行を事務局にお返ししたいと思います。 本当にありがとうございました。</p> <p><b>【4 閉会】</b></p> <p>委員の皆様におかれましては、会議でのご議論ありがとうございました。</p> <p>次回につきましては、ご審議いただく案件が生じた段階で、改めて開催の日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、令和6年度第1回総合教育会議はこれで終了といたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
-------	---